

昭和31年度海洋観測

(対馬暖流開発調査)

漁業部

(1) 観測線及び期日

回数	観測期間	定線及び定点	使用船	備考
1	S. 31. 6. 27 7. 13	都井岬南方 14点 開聞西方 9点 大島東方 10点 東支那海 29点 計 62点	試験船 照南丸 300HP 98.93ton	調査方法及び調査事項各点に於て測温、採水、気象観測、プランクトン、稚魚の採取、海流瓶の投入其の他対馬暖流開発調査要項にもとづく
2	31. 8. 30 9. 12	東支那海 14点	全 上	台風の為途中で中断
3	31. 10. 22 11. 9	東支那海及び南西諸島北西部 62点	全 上	さばの標識放流を併せて行ふ
4	31. 11. 20 11. 21	開聞岬至奄美大島 9点	全 上	まぐろ漁業試験を併せて行ふ
5	32. 1. 16 1. 17	全 上	全 上	全 上

(2) 観測資料のとりまとめ及び発表

本年度実施した海洋観測は昭和28年度より実施されている対馬暖流開発調査の継続事業の一環をなすもので、その資料は観測の都度速報として西海区水研を始め各関係機関へ報告して来た。

今回昭和28年度より一括し対馬暖流開発調査報告書(1953年～1957年度版、1957年12月発刊予定)として発刊するのでその一連の報告は本事業報告書には記載を省略する。